

事 務 連 絡
令和8年8月31日

都道府県・政令指定都市
高齢者介護主管課 介護テクノロジー担当者 各位
介護サービス事業所 各位

公益財団法人テクノエイド協会
常務理事 内 山 徹

**令和8年度
介護生産性向上の取組(在宅環境を含む)に係るロールモデル作成に伴う
事例提供介護事業所等の募集について**

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当協会では、厚生労働省老健局の委託を受け、介護テクノロジー等の活用による介護負担の軽減及び介護サービスの質の向上に資する取組事例を収集・分析し、他の介護事業所等における導入・運用の参考となる「ロールモデル」を作成することとしております。あわせて、各都道府県に設置されている介護生産性向上総合相談センター等において活用できる研修教材を作成する予定です。

つきましては、介護テクノロジー等の導入・活用に関する事例の提供及びヒアリング調査にご協力いただける介護施設・事業所等を募集することといたしました。

介護事業所等の皆様におかれましては、本事業の趣旨をご理解の上、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、都道府県・政令指定都市の担当者の皆様におかれましては、管内の介護事業所等への周知についてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 作成する「ロールモデル」とは

「ロールモデル」とは、介護テクノロジーや一般の福祉用具を効果的に活用し、業務の効率化、介護負担の軽減、高齢者の自立支援などを通じて良質なサービス提供につながった先進的な取組について、その導入から活用までのプロセスを分析・整理したものであり、これにより、他の介護事業所等が導入や運用の際に参考とできるよう、普及を目的とするものです。（「参考資料」参照）

2. 協力いただける介護事業所等の募集について

ロールモデルの作成に当たり、介護テクノロジー等を活用し、生産性向上に資する取組を行っている介護事業所等を対象として、事例提供及びヒアリング調査等にご協力いただける介護事業所等を募集いたします。

応募対象は、在宅又は施設の介護事業所等のほか、市町村、地域包括支援センター等とします。

ご協力いただける介護事業所等におかれましては、別添の「事例提供シート」に必要事項をご記入の上、令和8年9月18日(金)までに、当協会宛て電子メールによりご提出ください。

なお、事例提供シートは当協会ホームページに掲載しております。また、同ページには入力フォームも設けておりますので、フォームによるご提出も可能です。

(ロールモデル作成に伴う事例提供介護事業所等の選定について)

ご提出いただいた内容を当協会において確認・精査の上、ロールモデル作成の参考とする介護事業所等を選定いたします。

選定後、必要に応じて、個別にヒアリング調査等を実施いたします。

※ヒアリング調査や動画撮影にご協力いただく介護事業所等には、謝礼をお支払いいたします。

※選定結果につきましては、追って事務局から電子メールによりご連絡いたします。

◆協会ホームページ「生産性向上ロールモデル」専用ページ

https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab22_detial

◆事例提供シートの提出先(メールアドレス)

テクノエイド協会 企画部 robocare@techno-aids.or.jp

3. 介護テクノロジー等活用ミーティングにおける事例発表について

事例をご提供いただいた介護事業所等につきましては、当協会が本年11月に開催予定の「介護テクノロジー等活用ミーティング」において、事例発表(20分程度)をお願いする場合があります。当協会から依頼があった際には、全国の介護事業所等における取組の参考となる事例として、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆本年度の開催予定 令和8年 11月10日(火)～14日(土)

参考)令和7年度の実績

https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo_07.shtml#tab39_detial

4. 本件に関する問い合わせ先(事務局)

「	公益財団法人テクノエイド協会 担当:伊東、松本、堀江、五島 〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1番1号 セントラルプラザ4階 電話 03-3266-6883 FAX 03-3266-6885 E-mail robocare@techno-aids.or.jp	」
---	---	---

介護生産性向上に資するロールモデルと研修教材の作成(案)

背景	課題	事業内容
- 生産年齢人口の減少により、介護現場の人材不足が深刻化 - 介護サービスの質を維持しつつ、業務効率化・負担軽減・働きやすい環境整備が急務 - 厚生労働省では「介護テクノロジー・福祉用具」の開発・普及を推進	- 介護テクノロジー等の活用には一定の成果があるものの、<u>導入効果及び運用方法については、各現場における取組の蓄積を踏まえ、知見の共有を一層進める必要がある。</u> - 特に在宅介護においては、<u>利用者ごとの生活環境に応じた活用方法を整理し、実践につなげていくことが求められる</u>	- 介護テクノロジー等を活用した<u>先進的取組を収集・分析し、他の介護事業所等が参考にできる「ロールモデル(※)」を作成する</u> - 併せて、<u>介護生産性向上総合相談センターで活用できる研修教材(動画・事例等)を作成し、全国的な普及・定着を促進する</u>

(※)「ロールモデル」とは、介護テクノロジーや一般の福祉用具を効果的に活用し、業務の効率化、介護負担の軽減、高齢者の自立支援などを通じて良質なサービス提供につながった先進的な取組について、その導入から活用までのプロセスを分析・整理したものであり、これにより、他の介護事業所等が導入や運用の際に参考とできるよう、普及を目的とするもの

ロールモデルの内容(案)

※課題と活用可能な機器・システムのマッチング

課題を一定標準化し、①活用する介護テクノロジー(福祉用具を含む)、②期待する効果、③環境設定、④機器選定のポイント、⑤導入のポイント、⑥さらなる業務改善の方向性(見守り、介護業務支援、移乗支援、居宅介護を含め検討予定。)、⑦実事例、⑧コラム等



研修教材の内容(案)

タイトル(案)

『福祉用具・介護テクノロジーを活用した生産性の向上(仮称)』～機器・システムの安全な利用と質の高いケアの実現～

項目	主な内容	項目	主な内容
第1	目的及び対象、使用方法	第3	ロールモデル
第2	①介護テクノロジー等利用の基本的な考え方、②生産性の向上につなげるポイント、③生産性向上ガイドラインの活用、④困りごとの共有、⑤効果の確認、⑥機器・システムの選定と運用上の留意点、⑦まとめ	第4	機器・システムの機能別一覧
		第5	本教材を活用した研修実施例

令和 年 月 日

介護生産性向上の取組(在宅環境を含む)に係るロールモデル作成に伴う 事例提供シート

1. 事例のタイトル及びテーマ番号

事例タイトル(仮称)	テーマ番号

テーマ番号は、次頁の中から提供内容に最も近い番号をご記入ください。(複数の番号をご記入いただいても差し支えありません。)

2. 介護テクノロジー等を活用した事例

介護事業所等の名称		
サービス種別(別表)		
担当者名		
役職・職種		
担当者の主な業務		
連絡先	住所	〒
	電話	
	電子メールアドレス	
取組前の課題		
導入した機器・システム		
取組の成果、工夫した点など		
導入効果		
取組の開始から活用されるまでの概ねの期間		

おおよその費用額	(おおよその費用額) ○機器・システムの費用 円 ○月額利用料 円 ※Wi-Fi 環境整備費を除く (介護テクノロジー等を活用している利用者やベッドの数)
業務改善に向けたさらなる取組や現状の課題など	(業務改善に向けたさらなる取組) (現状の課題)

3. 個人情報の取扱いについて

個人情報の取り扱い

同意 します	☐	「個人情報取扱い同意書」をご確認の上、同意欄にチェックを入れてください。
-----------	--------------------------	--------------------------------------

(応募にあたり連絡事項)

- 各項目について、必要に応じて記載欄を追加してください。
- 事例提供シートに記載された内容は、本事業の目的に限り使用し、その他の目的では使用いたしません。
- 選定された場合には、ヒアリング調査及び動画撮影等へのご協力をお願い致します。

(ロールモデルのテーマ番号)

テーマ	番号	内容
全般	1	記録などデスクワークに時間を取られ、レクが手薄になったり会話時間が取れない
	2	委員会議事録や報告書作成などを業務の合間にやろうとするが時間外になってしまう
	3	急な処置で看護師を呼びたい時などで職員の居場所がわからず探す時間がかかる
	4	外国籍スタッフへの連絡指示や情報共有が不十分で連携した業務が出来ていない
	5	新旧複数のICTシステムを併用することで端末が増え操作の習得に時間がかかっている
夜勤業務	6	高転倒リスク者の離床を高精度で感知し、転倒事故を防ぎたい
	7	離床センサー反応の対応で訪室回数が多い（訪室すると横になっていることが多い）
	8	定時巡視の訪室で覚醒させてしまい睡眠の質が低下、職員の時間・身体的負担も大きい
	9	入居者に良質な睡眠を提供し、日中活動の充実を含め生活の質を向上させたい
	10	転倒状況がわからず再発防止対応が取れていない、家族が納得せず嫌な思いをする
	11	オンコール看護師への連絡タイミングがわからず不安ばかり先行、訪室回数が増えてしまう
	12	単独で夜勤業務が出来るようになるまでの教育期間が長く、戦力化に時間がかかる
訪問・通所系業務	13	利用者ごとの指示出し書類作成が間に合わない（加算取得のために残業が多くなる）
	14	シフトの作成や急な変更への対応、変更後の指示連絡に時間がかかっている
	15	連絡や記録で事務所に戻る時間を確保するために訪問回数を制限している
移乗や入浴介助業務	16	腰痛を訴える職員が多く、急な休みや離職でシフトに制約、一部の職員に負担が集中
	17	利用者の重度化で機械浴相当の方も個浴で対応、職員の負担と事故リスクが高い
	18	入浴介助時間帯はホールでの見守りが手薄になっており、転倒事故が心配

○サービス種別は、以下から選択してください。

1. 施設サービス(介護保険施設に入所して利用するサービス)
 - ・介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
 - ・介護老人保健施設(老健)
 - ・介護医療院
2. 居住系サービス(自宅に近い環境で生活しながら介護を受けるサービス)
 - ・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
 - ・特定施設入居者生活介護
 - ・有料老人ホーム
 - ・軽費老人ホーム(ケアハウス)
 - ・サービス付き高齢者向け住宅(特定施設指定を受けたもの)
3. 在宅サービス(高齢者が自宅で生活しながら利用するサービス)
 - ・居宅介護支援事業所
 - ・訪問介護(ホームヘルプ)
 - ・訪問看護
 - ・訪問リハビリテーション
 - ・居宅療養管理指導
 - ・通所介護(デイサービス)
 - ・通所リハビリテーション(デイケア)
 - ・短期入所生活介護(ショートステイ)
 - ・福祉用具貸与
 - ・特定福祉用具販売
 - ・住宅改修
 - ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護
 - ・小規模多機能型居宅介護
4. その他
 - ・市町村
 - ・地域包括支援センター など

個人情報取扱い同意書

当協会はおお客様の個人情報をお預かりすることになりますが、そのお預かりした個人情報の取扱いについて、下記のように定め、保護に努めております。

【利用目的】

- 1) 提供いただいた内容に対するお問い合わせを行うため
- 2) 事業案内、成果物等の発送のため

【第三者への提供】

当協会は法律で定められている場合を除いて、お客様の個人情報を当該本人の同意を得ず第三者に提供することはありません。

【個人情報の取扱い業務の委託】

当協会は事業運営上、お客様により良いサービスを提供するために業務の一部を外部に委託しており、業務委託先に対してお客様の個人情報を預けることがあります。この場合、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等において個人情報の適正管理・機密保持などによりお客様の個人情報の漏洩防止に必要な事項を取決め、適切な管理を実施させます。

【個人情報提出の任意性】

お客様が当協会に対して個人情報を提出することは任意です。ただし、個人情報を提出されない場合には、当協会からの返信やサービスを実施ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【個人情報の開示請求について】

お客様には、貴殿の個人情報の利用目的の通知、開示、第三者提供記録の開示、内容の訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止、第三者提供の記録の開示等を要求する権利があります。詳細につきましては下記の窓口までご連絡いただくか「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。

お問合せ先：個人情報問合せ窓口
TEL 03-3266-6880
責任者：個人情報保護管理者 内山 徹

【お問合せ先】

公益財団法人テクノエイド協会 企画部

TEL 03-3266-6883 MAIL:robocare@techno-aids.or.jp